



friendship force
WESTERN TOKYO

令和2年1月号

第31号

1

米国 グレーターオーランド受入2019/11/3-9



歓迎会 オーランドクラブ合唱(北京飯店・大和市)

オーランド受入報告

HC戸ヶ崎正次

オーランドのメンバーは皆とてもチャarmingでした。皆さん日本語の挨拶を勉強してこられたようです。嬉しいです。今回が初めての渡航のアンバサダーが複数おられ、ACのSueさんは熱心にその方々をフォローしていました。今回初めてのHCということもあり、すべての行程に家内と2人で参加したため夕食の準備をしないまま出かけていました。「トガ、no cook, no problem」とMaggie とSueさんから気遣って頂いたり、朝食の準備から洗い物まで、色々お手伝いしてもらったり、ラクちんな受入でした。今回もイベント盛りだくさんでちょっとお疲れ気味でしたが、皆さん楽しんで頂けたようで嬉しいです。出欠等に一部パソコン入力を試行してみました。皆さんのご協力を得て何とか運用できました。会員さんの中にはさまざまな特技をお持ちの方が大勢いらっしゃいます。その方においてイベントを企画しました。同じ体験をしながら仲良くなって行くことが出来た様な気がします。



アンバサダー・ホスト紹介

受入初日、前日より泊まっている成田のホテルに出迎えに行き、バスで東京観光をしました。コースは定番の浅草、明治神宮、都庁。さらに車窓から皇居、国会議事堂、官庁街、東京タワー、完成間近の新国立競技場などなど。この日は日曜日と3連休の中日が重なり、どこも人人人…。予想外の大混雑に日本人もアンバサダーもびっくり！でも、バスの中でおいしいサンドイッチを頂きながら、ガイドさんのユーモアを交えた説明と都心の景色を楽しみました。明治神宮では七五三の子どもたちの姿に一同笑顔となりました。都庁の展望台は、長蛇の列。1時間待ちとのことで断念しました。東京観光？人人観光？時間どおり、バスは町田に到着しました。



明治神宮

今回初めて大和駅そばの北京飯店でパーティーを実施してみました。パーティー用の広い場所を予算内で見つけることはいつも苦労するところだと思いますが、北京飯店は定員100名ほどの大広間があり参加者が50名を超えると室料無しで借りられる、ということで、慌てて会員の参加を声掛け。お陰様でアンバサダー20名を含めて56名の参加となり無事に大広間を借りることが出来たのは大変良かったと思います。アンバサダーにとって第1週目であり、到着翌日でもあったので各テーブルにはアンバサダーとホストファミリーが同席して頂き和やかな雰囲気となり、中華料理もアンバサダーに好評なようだったので安心しました。パーティー後半、オーランドクラブは歌やダンスで盛り上がり、西東京クラブはHC戸ヶ崎さんとホストの田中満穂さんがウクレレとギターの演奏しながら歌って下さり、西東京クラブ最後は柳川夫人の指揮により“花”の二重唱を我がコーラス隊が頑張り、アンコール？“幸せなら手を叩こう”で中締めとなりました。



戸ヶ崎さん、田中さん合奏



歓迎会会場

11月5日(火)オーランドクラブからのゲストをお迎えして鎌倉ツアーに参加しました。当日は幸いにも真っ青な空も美しい秋晴れ！絶好の行楽日和でした。総勢ゲスト20名、西東京クラブから8名に加え、鎌倉観光協会所属のボランティアガイドの方が3人参加しました。A,B,Cの3つのグループに分けてそれぞれにガイドさんがつき江ノ電長谷駅に10時集合。ゲストの皆さんは皆晴れやかな表情で日本が初めての方がほとんどでした。長谷寺から高德院大仏、小町通りで昼食、最後に鎌倉八幡宮、小町通りショッピングで4時に解散という流れでした。



長谷観音

特に印象に残ったのは昼食時に同じテーブルになった3人の女性達とのお喋りでした。リン、シンディ、ミミ3人共、事前に予約のマグロ膳の昼食にとっても喜んで一口毎にmarvelous! と表情豊かに堪能している様子にこちらまで嬉しくなりました。年代もほとんど変わらない女性達と孫の写真を見せあいオーランドの様子を尋ねる私に自宅の大きな庭やプールの写真を見せていつでも泊りにいらっしゃい、ホストがとても親切にもてなしてくれるとの言葉にFFの意義を改めて感じました。ガイドの皆さんの熱心な案内にもお礼申し上げます。

• 11/6 和太鼓鑑賞(深沢高校)

石井 嗣代

6日はフリーディでしたが、アンバサダー13名と、ホスト、デイホスト16名が都立深沢高校の和太鼓部の実演を午後3時から約2時間見学させて頂きました。顧問の先生による、フロリダ州の歴史・地理の解説に続いて、42名の生徒達の、翌週にコンペを控えた演奏は目の覚めるような迫力でした。今年は女子生徒が多く、華やかさもありません。その後、生徒たちに混ざっての実技練習に引っ張り出され、さまざまなサイズの太鼓や生徒との会話を楽しみ、最後に皆で写真を撮るなどひと時の交流をして頂きました。夕食は桜新町駅そばのレストラン「権八」で、めいめい和食を楽しみました。



都立深沢高校、世田谷

• 11/7 箱根観光

田中 正子

台風19号の被害を受けた箱根でしたが、復旧作業も進み、当日は晴天に恵まれて冠雪の富士山に迎えられ、上々のスタートを切りました。元箱根の蕎麦店で皆様に日本の代表的ヌードルを味わっていただき、成川美術館では日本画を鑑賞、展望ルームで芦ノ湖と箱根外輪山の大パノラマに癒され、食休みを兼ねてゆったりと過ごしました。杉並木を散歩して旧東海道の往時を偲び、箱根関所や寄木細工を見学し、箱根の歴史や文化に触れることができました。幾つもの幸運に恵まれた一日でしたが、更に最後は、我々専用的小田原行き急行バスの臨時便を出してくれるというおまけがついて一同感激！短い滞在時間でしたが、アンバサダー達にも箱根の自然を堪能していただき、我々も嬉しく思いました。



成川美術館、箱根

総勢16名で「蕎麦打ちの会」を行いました。蕎麦打ちの先生と一緒に、お蕎麦が出来上がるまでの各工程を、実際にアンバサダーに体験して頂きました。皆、職人気分で、苦戦しながらも笑顔で挑戦していました。粉をこねて、蕎麦玉を作り、蕎麦棒で伸ばしながら大包丁で細く切ります。最後に皆で粉まみれになりながら作ったお蕎麦を、天ぷらと共に試食しましたが、皆の愛情がたくさん入ったお蕎麦は大変美味しかったです。



蕎麦打ち体験、宇梶さん宅

2年前、オーランドの歓送会でKurthさんがギターを弾きながら歌って下さり、日本にお招きした際にはキッチンコンサートをやろうと決めていました。当日はアンバサダー、ホストの方も含め、24人に参加頂き、足りない椅子は宇梶さんからお借りし、移動をMaggie とSueさんに手伝って頂きました。コンサートはピアノやギターやウクレレの弾き語り、ハーモニカ、中国語の歌や英語で解説もして日本語の歌など、飛び入りもあり盛りだくさんでした。また大和市に伝わる民話の紙芝居もホストのみなさんに協力してもらい、英語も交えてやってみました。オーランドの皆さんの反応がとても良く、出演している我々の方も楽しくなり大成功だったと思います。その後持ち寄りで食事もしみながら、最後にはお一人ずつ感想もいただき、ハートフルな会になりました。



戸ヶ崎さん宅

ホストの山崎さんのお宅で行われた巻き寿司を作るグループに参加しました。アンバサダー8人、ホスト(デイホストを含めて)10人の参加でした。手のかかる具材は前日に準備し、巻くだけにしておきました。最近は外国の方も口にする機会の多い日本食ですが、初めて巻く海苔巻きを手際よく巻かれていました。甘めに煮ておきました具材に興味を持ち、口にされ、おいしいとにっこりされました。巻くのはうまく行っても、切るとなるとやはり大変でした。でもそれなりにお皿の上に乗ってくれました。急な事で準備不足でしたが、石井さん、佐原さんの協力を得て楽しく行うことが出来ました。



巻き寿司体験、山崎さん宅

風邪のアンバサダーが我が家へ、皆で薬局に行く。夫が、（薬を飲んでいたよ）と。薬剤師さんに知らせる。コレステロールと高血圧の薬だった。いろいろ探していたら、（医師の兄に電話してみます）と。電話で選んだ薬が良かったのか、翌朝には、だいぶ回復。（治りかけに人に移すんだよなあ）と夫が笑っていたが、リンはカースに移していたらしい。西東京の後、愛媛で、リンは元気、でもカースは3日、大変だったらしい。交流の後京都に向かう頃にはすっかり回復。蜂蜜と生姜入りのTeaをリンにせさせと飲ませたが、カースにも飲ませていれば、と後悔。2人は静かで優しい夫、それを照らす太陽のような妻。ホームステイ中は暖かな風が我が家に溢れ、去った後は寂しくて、部屋はそのままにしています。



合唱、工藤さん宅

・代表者会議

高垣 孝

去る10月27日静岡クラブ主催の日本大会全体会議に先立ち、代表者会議が開かれました。出席者の自己紹介のあと、FFI理事の大西 弘さんからFFI Board報告及びFFI最新の動向についての話がありました。世界的に交流の参加人数が減ってきているのが、特に懸念材料のようですが、詳しくは、大会中の大西さんのレポートをご参照下さい。そのあとFRCの蓋さんから日本コミュニケーションネットワーク会議の報告がありました。3つのテーマについて対策を提案されましたが、これは関東ブロック会議でも報告があったので、省略します。



今回の代表者会議のメインテーマはストップオーバー交流と、チラシ・リーフレットの見直しでした。まずストップオーバー交流は、1週間の受入が、高齢化に伴い困難になってきたことで、静岡クラブ始め、多くのクラブからレギュラー交流と同じ扱いにすべきという提案がありました。それに対して賛否の議論が活発に交わされました。西東京クラブとしても、今後ストップオーバー交流を積極的に取り入れるかどうか検討したいと思います。リーフレットについては作っているクラブと、作っていないクラブがほぼ半々でした。西東京クラブとしてはリーフレットと同じく、ホームページを充実して行きたいと考えています。今回は総じて活発な意見交換ができて、大変有意義な代表者会議でした。

・全体会議

石井 健二

鈴木靖子会長兼実行委員長挨拶を皮切りに、Jeremi Snook FFI会長講演(海外組織作りの現況、FFI Websiteの多言語(日本語を含む)対応、「変化」が目指す目的を理解し行動する「変革」の呼びかけなど)、前記の代表者会報告、コミュニケーションネットワーク活動報告(蓋FRC)、と続き、英語による静岡紹介、天野氏講演「富士山信仰」の後、全員参加による、課題のグループ討議と、全体会も充実した会合で、本大会を主催した静岡クラブの皆さまに感謝します。西東京クラブから13名が出席、FF活動の状況を学ぶと共に、全国の仲間と友情を確かめ、新たな絆を作りました。



木遣りのご披露で始まった懇親会は地元の歴史を感じさせてくれました。又アトラクション「バンドで遊ぼう！」で懐かしいカーペンターの「Top of the world」等に合わせて会場から大きな歌声が上がり、大成功の内に熊本クラブ次回開催のプレゼンで閉会になりました。28日は「富士山周辺周遊バスツアー」を選びました。最初の静岡県富士山世界遺産センターは平成25年ユネスコ世界文化遺産に登録された富士山を後世に守り伝える拠点施設で歴史、文化、自然等富士山を多角的に紹介していました。アサギリフードパークでの美味しいランチ、鳴沢氷穴見学、本栖湖等盛り沢山のツアーを終えました。参加者46名の大満足と共に静岡クラブのお心遣いに感謝です。



・ 新会員紹介

野村美菜子

海老名市在住で夫と社会人の娘、大学生の息子がおります。

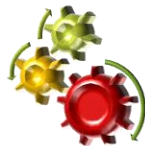
趣味は映画や音楽鑑賞、鍵盤楽器、ガーデニングなどです。

自分の時間が増えてきたので、何か始めようと思い英会話クラブに入会したところ、クラブのお友達からFFを紹介していただきました。

平日は仕事をしているので活動は主にデイホストになると思います。

様々な出会いを通して楽しく活動できたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。





2020年3月23～30日の1週間、Gold Coastクラブの受入があります。オーストラリア連邦クイーンズランド州南東部にある都市で、オーストラリア最大の観光保養地として有名とか。亜熱帯性気候の所から「花冷え」もあるかも知れない日本で如何に楽しく過ごして頂くか・・・皆様のご協力をお願いします。当初14名のAmbassadorは大規模な山火事により10名になりましたが、また新しい友人が出来ますね。楽しみです。

HC 虫明 陽子 SHC 宇梶 淑恵

お知らせ

2020年予定

- ・2月1日
西東京クラブ総会 町田ホテルヴィラ
- ・3月23日～30日
豪・ゴールドコースト受入
HC: 虫明陽子、SHC: 宇梶淑恵
- ・4-5月
懇親ハイキング、詳細検討中
- ・6月27日(土)
関東ブロック会議(西東京クラブ主催)
町田ホテルヴィラ
- ・8月12日～28日
豪・ブルーマウンテン/シドニー/ケンプシー
英語学習渡航 AC: 石井嗣代
- ・10月2日～9日
ニューカレドニア・ヌーメア渡航
AC: 戸ヶ崎正次
- ・10月4-5日 日本大会(熊本クラブ主催)

本号発行の間際、新型コロナウイルス問題の拡大懸念から豪・ゴールドコーストクラブ受入は急遽、延期することになりました。

今号は昨年のグレーターオーランドクラブの受入が中心になりました。久しぶりに渡航の際にお世話になった方にお会いできて楽しかったことを思い出しつつ編集しました。初めての催しが多かったのではほとんど参加することになり、ちょっと忙しすぎたなーというのもありましたが、たくさんの方と交流できてよかったです。原稿をお寄せ頂いた方や渡航、受入した方にはもちろん、参加できなかった方にも楽しんで読んで頂ければうれしいです。

今年も3月にはさっそくゴールドコーストの受入、秋にはニューカレドニアへの渡航も控えています。ぜひ楽しんできた記憶を残せるような会報にしたいものです。

(戸ヶ崎 満里)

令和に慣れると平成に違和感を感じている、例によってデザイン担当の中川です。転職してウィンドウズ機を使っているのですが、10年MACを使い続けた弊害か、同じワードやパワポでさえ使いにくさを実感しております。前会報からわずか1ヵ月の会報、今回の目玉は米国 グレーターオーランドの受入です！FFの仲間と過ごす、普段の何気ない風景も違ったものに見えてくるかと思えます。自分らの持っている良いものの再確認と相手の素敵な感性に触れられるよい交流であったことを願います。令和元年生まれの娘はよくわからない言葉で話しかけてくれますが、彼女が話せるようになったらのんびり研修渡航にでも参加してみたいと画策しております。

(中川 貴文)

発行日: 令和2年1月 第31号
発行者: ザ・フレンドシップフォース・西東京

町田市つくし野4-29-17
Tel/Fax 042-796-6797

ホームページ
担当: 石井健二、西村千織
<http://ffw-tokyo.org/wp>